

2017 8/31

人工知能(AI)やフ
 インテックをはじめ、テ
 クノロジーを活用して新
 市場を開拓する企業の新
 規株式公開(IPO)が
 増えている。30日に東証
 マザーズに上場したUU
 UM(ウーム)を皮切り
 に、9月以降注目の上場
 が相次ぐ。IPOを機に
 既存ビジネスに革新をも
 たらす企業に資金が流入
 する可能性がある。
 UUMは動画投稿サ
 イト「ユーチューブ」で
 収入を得る「ユーチュ
 ーバー」のマネジメントと
 いう、新たな事業モデル
 の企業だ。投資家の関心
 は高く初日は買い注文が
 多く、公開価格(公募)

株式公開 裾野広がる

売り出し価格)の2・3
 倍となる4715円まで
 気配値を切り上げたが取
 引が成立しなかった。鎌
 田和樹社長は「動画をハ
 ブとした電子商取引など
 新しいビジネスを創り出
 していく」と語る。
 今年はこれまで46社が
 IPOを実施。通年では
 80〜90社と、過去10年で
 最も多かった2015年
 (92社)や16年(83社)
 に並ぶ水準になりそう
 だ。特徴的なのが、IT
 (情報技術)を活用して
 新市場を開拓する企業の
 増加だ。従来多かったゲ

「ユーチューバー」の事務所「UUM」上場

ームやネット広告などを
 「第1世代」とすると、
 既存の業界に新技術を武
 器に挑む「第2世代」と
 位置づけられる。
 例えはAI開発のPK
 SHA Technology(9月22日)
 SHATechnol
 ogy(パークシャ
 テ

動対話に強みを持ち、自
 動運転技術などへの応用
 の追い風になる。金融とITを融合した
 を視野にトヨタ自動車も
 出資する予定。あずさ監
 査法人の鈴木智博IPO
 サポート室長は「(外部
 はスマートフォン(スマ
 ホ)で使う自動家計簿ア
 プリを展開し、利用者は
 500万人を超える。ロ
 ードスターキャピタル
 は、ネットを介して小口
 資金を集めるクラウドフ
 ァンディング経由の不動
 産投資を広めようとして
 いる。富裕層が中心だっ
 た不動産投資が一般向け
 に広がる可能性を秘め
 る。年内にはフリーマ
 ケットアプリのメルカリ
 などの大型案件も見込ま
 れる。

IT活用で新業態

9月以降に上場が見込まれる主な企業

エスユーエス (9月13日)

ITなどの専門人材派遣。ビッグデー
 タやIoTのシステム開発需要を開拓

ウォンテッドリー (9月14日)

AIの求人情報サービス。交流サイト
 上で地方企業やベンチャーの採用支援

PKSHA Technology (9月22日)

画像認識のAI開発。自動運転技術な
 どに応用へ

ロードスターキャピタル (9月28日)

クラウドファンディングを通じた不動
 産投資。一般消費者の手が届く価格に

マネーフォワード (9月29日)

スマホ向けの自動家計簿アプリ。スマ
 ホ世代のニーズを発掘

メルカリ (年内?)

フリーマーケットアプリ。個人間取引
 の新市場を創出

(注)上段は企業名(上場予定日)、下
 段は事業概要など

ロードスターキャピタル
 は、ネットを介して小口
 資金を集めるクラウドフ
 ァンディング経由の不動
 産投資を広めようとして
 いる。富裕層が中心だっ
 た不動産投資が一般向け
 に広がる可能性を秘め
 る。年内にはフリーマ
 ケットアプリのメルカリ
 などの大型案件も見込ま
 れる。